

ムラコシ精工の開き扉用耐震金具シリーズには、本体に「台紙」または「シール」が貼ってあります。この「台紙・シール」を設置前に外してしまう（作動している状態）と**取り付けができません**。

「台紙」・「シール」の役割

- ・ 取り付け前にラッチが作動してしまわないようにする役割
- ・ 製品を誤って落下させ、その衝撃で製品内部の部品が壊れないための保護の役割

PFR-TSAa

台紙
タイプ



PFR-T2

シール
タイプ



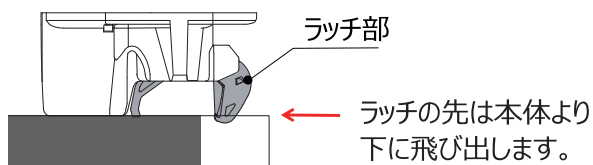
「台紙・シール」がないと正しく取り付けできません。

下記①～③の手順を参考に「台紙・シール」を付け直してから取り付けてください。

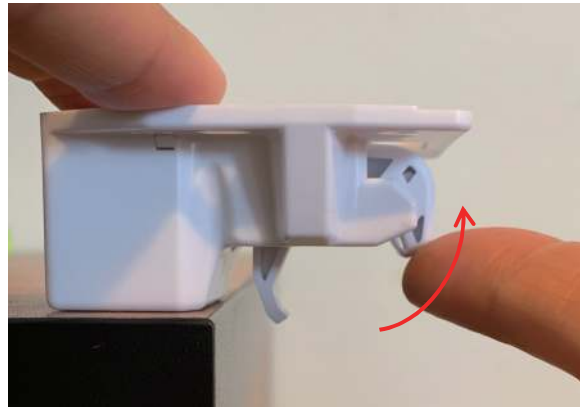
① 本体を平らな場所に置きます。



本体の底部を机などの水平で平らな所に置き、ラッチ部が机からはみ出る位置で抑えてください。

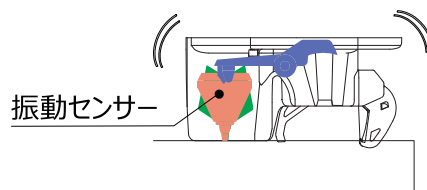


② ラッチ部を戻します。



ラッチ部を指で上に押し上げます。

ロックがかかりラッチ部が上がらない場合は、本体をこの状態を保持したまま「ラッチ部から手を放す」・「本体を少し揺らす」などして、本体内の振動センサーを元の位置に戻すとラッチ部を上げられます。



※説明はわかりやすくするため施工治具を外しております。
実際は、施工治具を付けたまま行います。



③ 「台紙」または「シール」を付け直します。



シールタイプは、「シール」を貼り直してください。
「シール」を破棄してしたなど再利用できない場合は、
セロハンテープなどで代用してください。

取り付け完了後、各製品の取り付け手順に沿って、家具等に耐震ラッチを取り付けてください。

その他 注意点

本体の取り付け後、台紙が付いている状態であれば脱落は殆ど防げますが、あまりに強い衝撃を受けると部品破損・部品脱落に繋がりますので取り扱いにはご注意ください。

< 部品脱落の確認 > 通常は、本体底の穴に金属のピン状の物がささっています。
それが目で見えて確認できれば、部品の脱落はしていません。



< 穴に写真のようなピンが見えない場合 >

中の地震感知機能（振動センサー）が脱落しています。

このままの状態では家具等に取り付けると、ラッチが動かず扉が開かない・地震を感知しないなどの危険に繋がりますので、絶対に製品を使用しないでください。

製品を修理するのは困難ですので、新しい製品に交換してください。

また、本体上側の蓋が外れたり浮いている場合も同様になります。

耐震ラッチの
動画はこちら

